

ロベルト酒井の

南十字の空から

平成 25 年度 ブラジル通信

No. 9 10 月 3 日～10 月 10 日

発行者 豊橋市教育委員会

酒井 憲一

パラナヴァイ市内の学校を訪問して

市内の市立一日制学校と 2 部制の州立学校をいくつか訪問しました。一日制の学校は、やはり朝早くから 17:00 前後までの 8 時間授業だったので、以下のように質疑応答しました。しかし、ブラジルの実情に合った大きな改革が必要です。



ダツシア市立学校にて

【授業と授業の間の休憩時間が必要ではないか？】

2 時間分の授業が 120 分だとしたら、その間の時間は教科の特殊性と担任の裁量による。例えば、国語の授業があると 80 分を行わなければならないなど、全校一斉には休憩時間を設定できない。

【7:30 授業開始では子どもに負担なので、遅らせたらどうか？】

ブラジルでは昔から 7:30 開始。(2 部制の影響) 保護者は子どもを送って仕事に行くので、社会全体がその時間で動いている。社会の仕組みを変えなければいけない。

ノエミア市立学校を訪問した際、タブレット端末を活用した授業を参観しました。市内で唯一試験的に導入されたそうです。子どもたちは、私の写真を撮ったり家族の写真を見せてくれたり楽しく取り組んでいました。豊橋でも牛川小学校が取り組んでいることを伝え、今後私の方から情報提供しますと約束しました。



端末を使う子どもたち

帰国児童生徒・保護者との面談

豊橋で過ごした保護者の方は、私の家の近くの「オノ神」に住んでいたため、「アピタ」「パロー」などのローカルな話題で盛り上がりました。この方は、子どもが生まれる前までの 5 年間に 700 万円貯金し、一時帰国の際にパラナヴァイで家を購入しました。その後は、子どものブラジル人学校の学費や日本に納める保険料の出費でぎりぎりの生活だったため、帰国を決意したそうです。

豊橋の磯辺小、多米小、東陽中に在学していた生徒たちがいて、久しぶりに日本語を話せてうれし

かったと言っていました。今でこそ明るく話せますが、帰国直後から 2 年間は引きこもりがちだったそうです。学習言語としてのポ語が理解しにくいというより、日本とブラジルの生活環境の違いに悩み、日本に帰りたと思っていたそうです。また、子どもが日本の友達へ毎日メールをしていたところ、母親としては「早く日本への未練を断ち切って、ブラジルの現実に目を向けてほしい。」と思い、泣く泣く子どものネット環境を無くしたという保護者もいました。



帰国生徒との面談

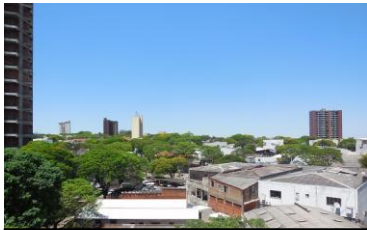
豊橋で研修を受けたパラナヴァイの先生方

研修を受けた先生方に会いました。クリスライネ先生は都合で来られませんが、皆さん元気で、豊橋のことを懐かしく思っていました。この日は、帰国児童生徒の支援活動について意見交換しました。



豊橋で研修した先生方

ロベルト酒井の休日はどうスルー ～パラナヴァイ市紹介～



パラナヴァイの町並み

パラナヴァイに来て最初の休日。孤独な日々と格闘している私は、特に何をするでもなく、一人で辞書を片手に町を散策しました。

パラナヴァイ市は人口約8万人の小さな町です。ホテルの部屋から撮った町並みのように、高層ビルやマンションが少なく、緑の多い落ち着いた街です。また、碁盤の目のように道路が区画整理されているので、散策しやすいです。

ブラジルでは週末に「feira(フェイラ)」と呼ばれる朝市のようなものが開かれていて、私は市内の朝市に出かけました。野菜などの食料品を売る店が多いですが、どの市場にも必ず「pastel(パステウ)」という「日本の大型チーズ入り餃子」なるものを売る店があり、揚げたてをいただくことができます。日本のブラジル専門店でも売っていますが、やはり本場のパステウは格段においしいです。

ご存じのようにブラジル人のほとんどがキリスト教徒のため、毎週日曜日は教会へ行きます。したがって、商店の従業員も教会へ行くので、ほとんどの店は日曜日が休みです。日曜日は「シャッター通り」のように閑散としていて、交通量も少ないです。したがって金曜日や土曜日は、食料の買い出しが必要です。はあ～…。



パラナヴァイの朝市

ロベルト酒井の「こんな時どうスルー？」

前号の答えは②です。①のように、ずうずうしく要求するわけではありません。なぜ②にしたか。(私見ですが) 外国の方は日本人より家族のことを話題にするように感じます。したがって、私は「妻の実家が…」と家族の話題を出すことで親近感が深まると思ったのです。案の定、話が弾み、家族の写真を見せてしまう羽目になってしまいました。ちなみにブラジルでは「結婚していますか?」という質問が通常のあいさつにあるそうです。③は論外ですが、日本のように外食した後「折に詰める」という習慣はあります。店によっては勝手に折に詰められてしまうところもありました。

それでは第⑨問。私は派遣中ホテル住まいですが、衣類の洗濯をどうしているでしょうか?

- ① 自分で洗っている
- ② ホテルのランドリーサービスに預けている
- ③ 川へ洗濯に行くおばあさんに預けている

最近、③の選択肢を見て、「これは③以外の2択だ」と思われている方が多いようですが、わかりませんよ。意外と深い意味が隠されているかもしれませんから・・・答えは次号で!

なお、来週はマリンガ市を訪問し、10月22日に再びパラナヴァイ市に戻ってきます。